

手すり先行工法ガイドライン通達

足場設置基準を規定

厚 労 省

厚生労働省は、「手すり先行工法に関するガイドライン」をまとめ、各都道府県労働局長に対し、周知徹底を求めて7日に通達した。ガイドラインでは、手すり先行工法の種類や使用方法、機材の強度などを「足場設置基準」として詳しく規定。その上で、事前調査の実施から足場計画、作業計画、機械計画、安全衛生管理計画、工程表の策定までに至る施工手順や、手すり先行工法を実施する際の留意事項などを示している。建設業労働災

害防止協会、全国建設業協会など5団体に向けても、要請文を送った。建設業の労働災害は、年々減少傾向にあるものの、依然として全産業に占める割合は大きい。建設業の死亡災害を種類別に見ると、墜落災害によるものが最も多く、死者数の約4割。特に、足場からの墜落が最も高い割合を占めている。

同省は、「足場は本来、高所作業を安全に行うために設置するものであり、足場からの墜落災害を撲滅することは、建設業の

労働災害を防止する上で不可欠」との考えから、平成12年に「足場等の安全対策検討会」（座長・加来利一日本クレール協会会長）を設置。先月まで8回の会合で検討成果をガイドラインとしてまとめた。

ガイドラインでは、足場の設置を必要とする建設工事（軒の高さ10m未満の木造家屋等低層住宅建築工事を除く）を対象に、手すり先行工法を実施する際の基本的事項を示した。

この中で、労働安全衛生法令の規程を守った上で、さらに足場から墜落の危険を減少させるために必要な基準として、「手すり先行工法による足場設置基準」を規定。手すり先行工法の種類については、①手すり先送り方式②手すり据え置き方式③手すり専用足場方式のいずれかを採用することとしている。

また、工法に利用する機材（手すりわく、親綱、緊張器、安全ネットなど）の性能や使用方法は具体的な数値を基準に盛り込んだ。

国土交通省がこのほど地方整備局など関係機関に通達した「建設工事事故防止のための重点対策」によると、発注者が実施する対策として、足場からの墜落事故防止を重点

タワー

この3月、静岡県富士市のビル解体工事現場で、コンクリート壁の崩落事故が発生した。工事に携わった作業員だけでなく、信号待ちの自動車に乗っていた方まで亡くなるという痛ましい事故だった。

このような災害が二度と起らないよう、建設業界はあらためて心しなければならぬだろう。特に今回のような第三者に対する災害防止には、より以上の注意を払う必要があることは言うまでもない。

15年度の始まりに当たり、新規入場者も増

災害防止

毎日がゼロ災のスタートライン

授)を設置し、初会合を開いた。事故原因究明の状況と並行しながら、対策を検討していく方針である。今後、早急に実施できる対策を中心に、6月末をめどに報告書をまとめるとしている。報告書は、建設業界、

え、まず、すべての建設現場で現状を点検し、安全管理を徹底してほしい。

今回の事故を重く見た国土交通省は、「建築物の解体工事の事故防止対策に関する検討会」（委員長・石山祐二北大大学院教授）を設置し、

摘されたという。その通りだろう。しかし、こうした問題があるからといって、民間発注者の意識が低いと安易に決めつけてはならないのではないか。ほとんどの民間発注者は建設工事の素人である。このように工事手

順や工法が決まるのか、といった意識を植え付けていることにならないか。このような点も議論してもらいたい。

ここで、あらためて平成14年の建設業の災害発生状況（厚生労働省の調べ、15年1月末現在）を見ると、死傷災害は2万6951人で前年比17.03%減少した。死亡災害では3月7日現在、速報値、前年（確定値）と比べ41人減の602人となっている。

この減少傾向は、建設工事の減少が大きな要因として挙げられるだろうが、昨今のコスト削減要請など、建設業に課せられた厳しい条件を考えると、

推進工事技士学科試験

来月15日まで受け

日本水道管渠推進技術協会（木村信彦会長）は、15年度推進工事技士の学科試験の申し込みを5月15日まで受け付ける。

求めている。なお、ガイドライン活用の要請は、防災防、全

建のほか、日本建設業団体連合会、建築業協会に

月12日

▽受験料 学科試験1万3000円 実地試験1万3000円

▽受験願書 協会本部または支部事務局で1部500円で頒布

▽申し込み、問い合わせ 先日本水道管渠推進技術協会（東京都港区赤坂1-6-14、赤坂協和ビル3階 ☎03・3586・8050）

試験（学科・実地とも）は、福岡会場が太宰府市五条の第一経済大学、那覇会場が那覇市旭町の自治会館で実施する。

この試験は、推進工事の知識、技術の向上と、推進専門技術者の育成・確保を図るために4年度から実施している。13年度からは建設業法施行規則第17条に基づく技術・技能の審査・証明事業として国土交通大臣から認定を受けている。

受験要領は次の通り。▽受験資格 Ⅱ学歴は問わない。ただし、推進工事に直接かかわる1年以上の指導監督の実務経験が必要

BELCA マンションドック

マンションを定期診断

建築・設備維持保全推進協会（BELCA）は、マンションの定期的な診断を継続する仕組み「マンションドック」を4月1日から始めた。このシステムは、人間ドックにならってBELCAが考案したもの。一定の要件を満たしたマンションの診断事業者を「マンションドック」として認定し、管理組合などに活用してもらう。現在、19社30事業所が認定を受けている。

マンションドックは、マンションの共用部分について、建築後10年程度で初回診断を行い、以降5年程度の周期で診断を実施。劣化による損傷が生じやすい「屋根・防水」外壁「給排水設備」に関して、重点的に調査を行う。問い合わせは、BELCA事務局（☎03・5252・3873）まで。

ISO9001:2000年版定期研修会

23日から鹿兒島市で

（南鹿兒島テクノファ）は23日から3日間、ISO9001:2000年版定期研修会を県市町村自治会館で開催する。主な内容は、23日が内部監査員移行コース（94から2000年版、TQ34）、24、25日が建設業向けの

32)で、規格解説、チェックリストの作成、監査実施、是正処置の実体験となっている。講師は実務・審査経験ともに豊富なISO主任審査員。詳細は、（南鹿兒島テクノファ ☎099・251・4302）まで。

きょうの天気

天気	風	降水確率
晴	北西強く のち北	0% 10%
晴	北西強く のち北	0% 10%
晴	北西初め やや強	0% 10%
晴	北	10% 10%

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

鹿兒島・種子・屋久地方				奄美地方			
日	曜	天気	降水確率	気温	天気	降水確率	気温
10	木		10%	19° 8°		10%	21° 14°
11	金		50%	19° 12°		50%	23° 17°
12	土		50%	20° 15°		50%	23° 18°
13	日		30%	21° 12°		40%	23° 17°
14	月		50%	23° 13°		50%	23° 17°

行政動静

4月9日(水)

- 【県庁】
- 知事……………在庁
 - 副知事……………在庁
 - 土木部長……………在庁
- 【鹿兒島市】
- 市長……………出張
 - 木村助役……………市内
- 【鹿兒島国道事務所】
- 所長……………在庁
 - 後田副所長……………在庁
 - 喜多川副所長……………在庁

- 【川内川河川事務所】
- 所長……………出張
- 【大隅河川国道事務所】
- 所長……………庁外
- 【鹿兒島港湾・空港整備事務所】
- 所長……………出張
- 【志布志港湾事務所】
- 所長……………出張
- 【日本道路公団鹿兒島工事事務所】
- 所長……………在庁
- ※予定が変更になることがありますので、ご了承ください。